

一般社団法人日本音響家協会 第15回定時社員総会議事録

1, 開催日時：2018年5月28日（火）14時～14時40分

2, 開催場所：国立能楽堂大講義室（東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1）

3, 出席社員数：207名（委任状による議決権行使者168名を含む）
議決権を有する正会員総数392名、定足数197名

4, 出席役員

理事：糸日谷 智孝、加藤 りな、高崎 利成、鷹栖 了、竹部 健太
坪田 栄蔵、丹羽 功、深尾 康史、八板 富榮

監事：三好 直樹

5, 議事概要

正会員の過半数の出席により第15回定時社員総会が成立したので、定款第20条に基づき八板富榮会長が議長となり、議長が丹羽功副会長と竹部健太理事の2名を第15回定時社員総会の議事録署名人に指名し、以下の審議を開始した。

6, 審議事項

第1号議案 2017年度事業報告の件

資料1に基づき、本部の事業を高崎利成副会長、北海道支部は大澤実支部長、東日本支部は竹部健太理事（支部運営委員）、北陸支部は西畠理副支部長、中部支部は大矢英和副支部長、西日本支部は長将司運営委員から2017年度事業活動の報告がなされ、審議の上、原案どおり承認された。

第2号議案 2017年度収支決算の件

資料2に基づき、糸日谷智孝会計担当理事から2017年度収支決算の報告がなされ、審議の上、原案どおり承認された。

第3号議案 2017年度監査報告の件

2017年度の業務運営及び収支会計の処理整理に関する監査結果について、三好直樹監事より適切かつ正確であるとの報告があった。

第4号議案 2018年度事業計画の件

資料3に基づき、議長から2018年度事業計画案の説明がなされ、審議の上、原案どおり承認された。

第5号議案 2018年度収支予算の件

資料4に基づき、糸日谷智孝会計担当理事から2018年度収支予算案の説明がなされ、審議の上、原案どおり承認された。

第6号議案 理事改選の件

第15回定時社員総会終結時をもって現理事は任期満了となるので、深尾康史理事より次期理事候補者案を示したところ、異議なく承認された。任期は第17回定時社員総会終了時までとなる。

なお、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

理事会推薦理事 網野 岳俊（重任）、糸日谷智孝（重任）、高崎 利成（重任）、加藤 りな（重任）、丹羽 功（重任）、深尾 康史（重任）、八板富榮（重任）

支部推薦理事 坪田 栄蔵（北海道支部推薦、重任）、鷹栖 了（北陸支部推薦、重任）、高橋 裕道（中部支部推薦、重任）、金子 彰宏（西日本支部推薦、重任）、奥山 竜太（東日本支部推薦、新任）

以上をもって、第15回定時社員総会における全ての議案の審議を14時40分に終了した。

上記の議決を明確にするため本議事録を作成し、議長と議事録署名人が記名押印する。

2018年5月28日

議 長 八 板 富 榮

署 名 人 丹 羽 功

署 名 人 竹 部 健 太

資料 1

2017 年度事業報告

本 部

5月23日 [ステイゴールド銀座] 第14回定時社員総会を開催、協会賞贈賞式と受賞者記念講演を併催。

5月23日 [ステイゴールド銀座] 創立40周年記念祝賀会を開催。

5月31日 [幕張メッセ] ライブ・エンターテイメント EXPO にて技術セミナーを実施。講師は糸日谷智孝、奥山竜太、浪花克治。ボーズ合同会社、コモドマッティーナ株式会社、松田通商株式会社の協力。

8月30日～31日 [NHK 大阪ホール・リハーサル室] 音響家技能認定講座・ベーシックコースを西日本支部共催で実施。

9月25日 [札幌サンプラザホール] 北海道支部の共催により映像技術セミナーを開催。エプソン販売株式会社の協賛、株式会社フォルクラングの協力、公益社団法人全国公立文化施設協会北海道支部の後援で実施。

11月7日 [八重洲北口・ルノアール会議室] 本物のプロ、目指そうよ! シンポジウムを開催。パネリストは塩田哲嗣、古屋博敏、奥山竜太、平井秀昌。コーディネータは八板賢二郎。株式会社ピーオーピーとコモドマッティーナ株式会社の協力。

12月12日 [ゲートウェイスタジオ高田馬場3号店] ジャズ音響研究会を開催。インストラクタは塩田哲嗣。

12月13日 [名古屋市昭和 문화小劇場] 音響家技能認定講座・ビギナーズコースを中部支部の共催で実施。

2018 年

1月13日～14日 [金沢市ものづくり会館] 音響家技能認定講座・ベーシックコースを北陸支部の共催で実施。

1月23日〔ゲートウェイスタジオ高田馬場3号店〕音響家技能認定講座・オペレータコースを東日本支部の共催で実施。ヤマハサウンドシステム株式会社の協力。

2月5日～6日〔国立能楽堂・大講義室〕音響家技能認定講座・ベーシックコースを東日本支部の共催で実施。

2月23日〔幕張メッセ〕ライブ・エンターテイメント EXPO にて技術セミナーを実施。講師は古屋博敏、八板賢二郎、内藤博司、持丸聡。ボーズ合同会社、コモドマッティーナ株式会社、株式会社ジェネレックジャパンの協力。

2月27日〔札幌サンプラザホール〕音響家技能認定講座・ビギナーズコースを北海道支部の共催で実施。

3月30日〔兵庫県立芸術センター〕音響家技能認定講座・ビギナーズコースを西日本支部の共催で実施。

- ・出版委員会は、機関誌「サウンドAT」を4回発行した。
- ・ホール百選認定委員会は、新たに「名古屋芸術創造センター」を認定した。
- ・協会賞選定委員会は、内藤博司氏を2017年受賞者に決定した。

北海道支部

4月19日〔六花亭札幌本店〕北海道支部は総会に合わせて六花亭の「ふきのとうホール」の見学を実施。

8月24日 暑気払いビアパーティーを開催。

11月29日～30日〔札幌コンベンションセンター・大ホール〕北海道音響事業協会主催「第19回 Hokkaido Sound Business Association (HSBA) 機器展」に協賛。

《本部との共催事業》音響家技能認定講座・ビギナーズコース、映像技術セミナー。

©SOUND A&T No. 91 の特集編集を担当。

東日本支部

6月1日 [幕張メッセ、ライブ・エンターテイメント EXPO 特設ステージ] マイ
クケーブル・8 の字巻グランプリ 2017 を開催。

10月23日 [新宿区四谷区民ホール] ステアリングスピーカーセミナーを開催。

2018年

2月22日 [幕張メッセ、ライブ・エンターテイメント EXPO 特設ステージ] マ
イクケーブル・8 の字巻グランプリ 2018 を開催。

3月9日 [国立音楽大学新1号館オーケストラスタジオ] 技術セミナー「楽器を
知ろう・ハープ編」を開催。

《本部との共催事業》音響家技能認定講座「ビギナーズコース」「オペレータ
コース」「ベーシックコースコース」

北陸支部

5月9日 [金沢市近江町交流プラザ 4F 研修室] 第1回音響セミナー 「オペラ
音響の実際」を開催。講師は石丸耕一。

11月7日 [金沢歌劇座] 第2回音響セミナー プッチーニ「トスカ」オペラセ
ミナーを開催。講師は石丸耕一。

12月7～8日 [富山県高岡文化ホール] 富山県公文協主催の第3回音響セミナー
「コンサートツアーエンジニアに学ぶライブユニットのSRテクニック」を共
催。講師はヒビノ株式会社の小野良行・庄健治・伊東由紀、北陸協立株式会
社の斎藤明菜。

《本部との共催事業》音響家技能認定講座・ベーシックコース

◎会員情報紙「小音響かわらばん」を6回発行。

中部支部

6月26日〔中京テレビ放送株式会社新社屋〕会員の交流と親睦を図るための見学会等を開催。

7月18日〔スタジオ246NAGOYA〕プロ音響機器フェア PLUS mid-2017 in NAGOYA を開催。

2018年

2月6日〔名古屋市芸術創造センターホール〕藝どころ名古屋で学ぶ 第15回邦楽セミナー 日本舞踊の「柝・付け打ち・下座音楽」を開催。

3月12日～13日〔日本特殊陶業市民ビレッジホール〕プロ音響機器フェア in NAGOYA 2018 を開催。

《本部との共催事業》音響家技能認定講座・ビギナーズコース

◎SOUND A&T No.93号の特集編集を担当。

西日本支部

8月3日〔滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール・中ホール〕オペラ・サウンドデザイン・セミナー 「ミカド」ゲネプロ研修を開催。

8月22日〔大阪府男女共同参画・青少年センター〕音響家技能認定講座・ベーシックコース講師勉強会を開催。終了後に納涼会を実施。

2018年

1月23日〔神戸常盤アリーナ 多目的ホール〕第3回デジタル卓セミナーを開催。

4月4日〔神戸市産業振興センター・ハーバーホール〕JAZZ音響塾・ビッグバ

ンド SR 体験セミナーを開催。

《本部との共催事業》音響家技能認定講座・ベーシックコース
音響家技能認定講座・ビギナーズコース

資料2

2017年度決算報告

一般社団法人 日本音響家協会

貸借対照表

2018年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	468,418
普通 預金	9,097,720	前受 会費	30,000
現金・預金 計	9,097,720	預 り 金	63,670
(売上債権)		未払法人税等	148,800
未収 入金	55,000	流動負債 計	710,888
売上債権 計	55,000	負債の部合計	710,888
(その他流動資産)		資 本 の 部	
前払 費用	11,780	【基金】	
仮 払 金	10,620	基 金	3,000,000
その他流動資産 計	22,400	基金 計	3,000,000
流動資産合計	9,175,120	【剰余金】	
【固定資産】		損失てん補準備金	1,100,000
(有形固定資産)		当期未処分剰余金	4,440,880
工具器具備品	6,003	(うち当期剰余金)	351,326
有形固定資産 計	6,003	剰余金 計	5,540,880
(無形固定資産)		資本の部合計	8,540,880
商標権	70,645		
無形固定資産 計	70,645		
固定資産合計	76,648		
資産の部合計	9,251,768	負債・資本の部合計	9,251,768

損 益 計 算 書

自 2017年 4月 1日
至 2018年 3月31日

(単位：円)

《経常損益の部》

[営業損益の部]

【収入】

正会員年会費	2,957,990
準会員年会費	396,330
入会金	35,000
雑誌広告収入	2,642,760
事業委員会収入	3,029,626
印税収入	351,388
セミナー等収入	1,807,666

収入計

11,220,760

【売上原価】

期首商品・製品棚卸高	0
当期商品仕入高	0
合計	0
期末商品・製品棚卸高	0

売上原価計

0

売上総利益

11,220,760

【事業経費】

事業経費計	10,922,956
-------	------------

事業剰余金

297,804

[事業外損益の部]

【事業外収益】

受取利息	93
雑収入	202,229
事業外収益計	202,322

【事業外費用】

事業外費用計	0
--------	---

経営剰余金

500,126

《特別損益の部》

【特別利益】

特別利益計	0
-------	---

【特別損失】

特別損失計	0
-------	---

税引前当期剰余金

500,126

法人税、住民税及び事業税

148,800

当期剰余金

351,326

前期繰越剰余金

4,089,554

当期末処分剰余金

4,440,880

一般社団法人 日本音響家協会

販売費及び一般管理費内訳書

自 2017年 4月 1日

至 2018年 3月31日

(単位：円)

雑誌出版費	1,281,910
事業委員会事業費	392,472
講演料・謝金	1,575,185
通信発送費	805,771
旅費交通費	2,675,517
広告宣伝費	259,724
接待交際費	77,702
会議費	3,221,804
事務用消耗品費	88,727
備品消耗品費	168,573
租税公課	1,314
諸会費	41,600
支払手数料	86,436
減価償却費	2,999
商標権減価償却	11,940
雑費	231,282
事業経費計	<u>10,922,956</u>

利益金処分計算書

(単位：円)

【当期末処分利益金】

4,440,880

【次期繰越利益】

4,440,880

資料 3

2018 年度事業計画

5月22日 [朝霞産業文化センター] 映像技術セミナーを埼玉県舞台技術協議会と共同開催。日本舞台監督協会共催、エプソン販売株式会社協賛、松田通商株式会社と東日本支部の協力。

8月 映像技術セミナーを神戸市産業振興センター・ハーバーホールで開催。

9月3日～4日 [NHK 大阪ホール・リハーサル室] 音響家技能認定講座・ベーシックコース大阪（西日本支部共催）

10月予定 本物のプロ、目指そうよ！ シンポジウム

12月予定 ジャズ音響研究会

12月予定 音響家技能認定講座・ビギナーズコース名古屋（中部支部共催）

2019年

2月予定 [国立能楽堂大講義室] 音響家技能認定講座・ベーシックコース東京（東日本支部共催）

2月予定 [兵庫県芸術文化センター 中ホール] 音響家技能認定講座・ビギナーズコース兵庫（西日本支部共催）

2月予定 [札幌サンプラザホール] 音響家技能認定講座・ベーシックコース札幌（北海道支部共催）

◎その他、各支部主催のイベント

◎機関誌を4回発行

◎協会賞の選定

◎優良ホールの認定

資料4

2018年度予算

《収入》

内訳	予算 A	前年度決算 B	増減額 A-B	備考
正会員年会費	3,300,000	2,957,990	342,010	
準会員年会費	300,000	396,330	-96,330	
入会金	60,000	35,000	25,000	
雑誌広告収入	2,700,000	2,642,760	57,240	
事業委員会収入	2,000,000	3,029,626	-1,029,626	
印税収入	500,000	351,388	148,612	
セミナー等収入	1,500,000	1,807,666	-307,666	
雑収入	12,000	202,322	-190,322	
小計	10,372,000	11,423,082	-1,051,082	
繰越	4,100,000	4,440,880	-340,880	
計	14,472,000	15,863,962	-1,391,962	

《支出》

内訳	予算 A	前年度決算 B	増減額 A-B	備考
雑誌出版費	1,400,000	1,281,910	118,090	
事業委員会費	400,000	392,472	7,528	
講演料・謝金	1,100,000	1,575,185	-475,185	
通信運搬費	900,000	805,771	94,229	
旅費交通費	2,300,000	2,675,517	-375,517	
広告宣伝費	250,000	259,724	-9,724	
接待交際費	200,000	77,702	122,298	
会議費	2,400,000	3,221,804	-821,804	
事務消耗品費	250,000	88,727	161,273	
備品消耗品費	500,000	168,573	331,427	
租税公課	1,000	1,314	-314	
法人税等	300,000	148,800	151,200	
諸会費	50,000	41,600	8,400	
支払手数料	150,000	86,436	63,564	
減価償却費	10,000	2,999	7,001	
商標権償却	20,000	11,940	8,060	
雑費	100,000	231,282	-131,282	
小計	10,331,000	11,071,756	-740,756	
予備費	4,141,000	4,792,206	-651,206	
計	14,472,000	15,863,962	-1,391,962	

一般社団法人日本音響家協会 2017 年度監査報告書

監査の手法

主として理事会の検討事項、各支部の毎月の運営委員会議事録、支部総会議案書の活動報告、機関誌 Sound A&T の記事、更に限られた機会ではあるが協会主催のイベントに参加しての感想等を元に監査した。

その結果

この 1 年本部・支部とも活発な活動が行われたと言える。SET の各グレードをはじめとして JAZZ 音響塾・イベントエンターテイメント EXPO 音響セミナーの開催など、また各支部においても積み重ねてきた独自のセミナーに多くの参加者が集まり、反響も大きくなってきている。

各イベントとも開催の計画、準備、実施、総括に至る各段階でルールに則った運営がなされていることが開催報告書から視える

会議の運営

本部・支部ともに定款の規定に従って開催の告知、招集、議事の記録など適正な運用が行われた。実行計画に従って予算組、終了後の決算報告も適正に行われている

会員数の漸減などで予算的にもきつくなっている状況を踏まえて、支部運営のための会議、各イベントの準備など可能な限り Web 上のミーティングにするなど、経費節減にも今以上に努めていただきたい。

機関誌の発行

広告収入が厳しい中、編集員の努力で Sound A&T90 号から 93 号まで計画通り 4 回発行された。支部が担当する特集記事も力が入った企画が目白押しで、誠に読み応えのある充実した内容になっている。企画の立案から執筆者の選定などここ数年非常に高いレベルで編集されていることが読み取れる。

社員数の減少、広告収入の伸び悩みなど相変わらず厳しい条件の中で 18 年度もやっで行かなければならない。少（若年層）子・高齢化の傾向はいつそう強くなったように思われるが、若手を引きつけるイベントを企画して会員として取り込むためのいつそうの努力で成果を上げていただきたい。

会計監査報告は別途報告する

監事 三好直樹